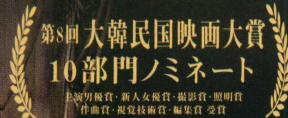
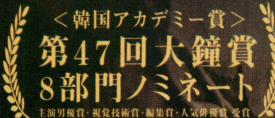


観客動員630万人を記録! 数々の主要映画賞受賞!!



「おじさん、守つてね」  
アジヨンビン キム・セロン

少女は、助けを求めた。  
男は、命をかけると決めた。

アシヨンビン キム・セロン  
『母なる証明』  
『冬の小鳥』

監督・脚本:イ・ジョンボム  
CJ ENTERTAINMENT AND UNITED PICTURES PRESENT AN OPUS PICTURES PRODUCTION  
A LEE JEONG-BEOM FILM WON BIN KIM SAE-RON "THE MAN FROM NOWHERE"  
MUSIC BY SHIM HYUN-JUNG SOUND RECORDIST YI SANG-JUNE SOUND DESIGNED BY KIM SUK-WON  
COSTUME DESIGNER JANG JU-HEE MAKEUP AND HAIR DESIGNER HWANG HYUN-KYU PRODUCTION DESIGNER YANG HONG-SAM  
EDITED BY KIM SANG-BUM VISUAL EFFECTS SUPERVISOR KIM TAE-UI LIGHTING BY LEE CHOL-O CINEMATOGRAPHER LEE TAE-YOUN  
EXECUTIVE PRODUCERS KATHARINE KIM LEE TAE-HUN PRODUCED BY LEE TAE-HUN WRITTEN AND DIRECTED BY LEE JEONG-BEOM  
CJ CG ENTERTAINMENT INC & UNITED PICTURES ALL RIGHTS RESERVED R15+  
www.ajussi2011.jp

9.17(土)全国ロードショー

昨年度韓国No.1ヒット作、遂に公開



## 韓国で2010年度観客動員No.1の大ヒット作! 強く切ない<新たなるウォンビン>主演で描く感動のストーリー。



2010年、韓国。一本の映画が、女性たちの心をわしづかみにし、男性たちの情熱をかき立て、一大ブームを巻き起こした。年間No.1ヒットの座を獲得し、数々の賞を総なめにした『アジョシ』。いったいこの作品の何が、それほどまで人々を引きつけたのか？

オープニングから観る者を圧倒するのは、迫力のアクション・シーンの連続だ。息をのむリアルな戦闘シーンを披露するのは、かつて見たことのない“ウォンビン”。無垢な青年を演じて高く評価された『母なる証明』(09)から一転、心に深い傷を負い、愛と幸福に背を向けて生きる男テシク。ただ一心を通わせる少女ソミを犯罪組織から救うために命を張る男を、鍛え抜かれた完璧な肉体を駆使して、ほぼスタントなしで演じ切り大絶賛を浴びた。少女救出の緊迫の物語は、人と人の絆を描く感動のラストへと辿り着く。韓仏合作映画『冬の小鳥』(09)で世界を驚愕させた天才子役キム・セロンが、愛を求める孤独な少女をけな気に演じ、涙を誘う。監督は『熱血男児』(06)のイ・ジョンボム。人は愛する者との絆があれば、生きていける。困難を走り抜く勇気をくれる、エンタテインメント作が誕生した！

*Story* 悲しみを抱えて生きる男テシク、隣に住む孤独な少女ソミ。

誘拐されたソミを救うため、テシクはこの世で最も深い闇へと踏み込んだ——。

テシク（ウォンビン）は、自ら孤独を選んだ。都会の片隅で質屋を営み、世間を避けるように生きている。過去のある事件が、彼から夢も希望も、未来すらも奪ったのだ。テシクの隣に住む少女ソミ（キム・セロン）は、いつも一人ぼっちだ。クラブダンサーの母は、娘の世話よりも自分の暮らしに忙しい。ソミはテシクを“アジョシ=おじさん”と呼び、ただ一人の友だちとして慕っていた。ある日、麻薬密売に巻き込まれた母親と共に、ソミは犯罪組織に誘拐される。ソミを救出するために組織を追うテシクは、その背後に隠された恐るべき真実を知る。愛する者を二度と失いたくない——テシクはソミを守り抜くと決意するのだが…。



監督・脚本：イ・ジョンボム 出演：ウォンビン、キム・セロン

2010年 韓国映画/英題：THE MAN FROM NOWHERE / カラー / 上映時間 119分 / シネマスコープ / ドルビー SRD / 日本語字幕：根本理恵 / R15+

配給：東映 協力：YOSHIMOTO ENTERTAINMENT SEOUL ©2010 CJ ENTERTAINMENT INC. & UNITED PICTURES, ALL RIGHTS RESERVED

[www.ajussi2011.jp](http://www.ajussi2011.jp)

